

【概要】

- 2020年9月1日から10月31日までの期間において、新飛行経路を飛行した航空機のうち、航空機の位置情報を確認できた航空機を対象として、航跡データを収集。
 - ※ 位置情報を確認できなかった航空機又は一部のデータが欠測している航空機については、上記の対象から除外。

- これまで住民説明会等でお示した想定される運航経路図に収集した航跡データを重ね合わせ、運航状況について確認。

- なお、直近1ヶ月の航跡データについては、羽田空港飛行コース公開ホームページ(※)において、お示ししている。

(※) 羽田空港飛行コースホームページ : <https://www.ntrack.mlit.go.jp/NtrackTop/show>
ただし、飛行状況は航空管制用レーダーの1分に1回のデータをコンピュータ処理して作成しているため、実際の飛行経路とは異なる場合があります。

【補足】

- これまで住民説明会等でお示した飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものである。
- 実際の航空機の飛行経路は、当日の気象状況等によっては、お示した幅の範囲内に収まらない可能性もある。

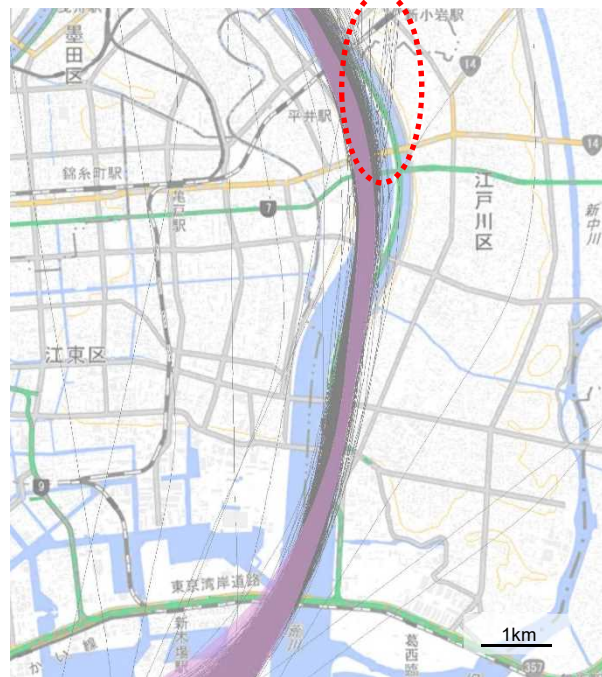
2020年9、10月新飛行経路の航跡(北風離陸(C滑走路)) 国土交通省

- 一般的に、悪天回避や管制運用上必要な場合(出発機間や周辺を飛行する他の航空機との安全な間隔確保のため)等には想定経路から逸れて運航する場合がある。
- 今回、具体的には、悪天回避のため想定経路から逸れて、荒川に沿わずに荒川東西の地域上空を運航していた。
- 新小岩方面に飛行する運航(下図赤丸で囲んだ部分)については、悪天回避あるいは、管制運用上必要な場合に限っている。

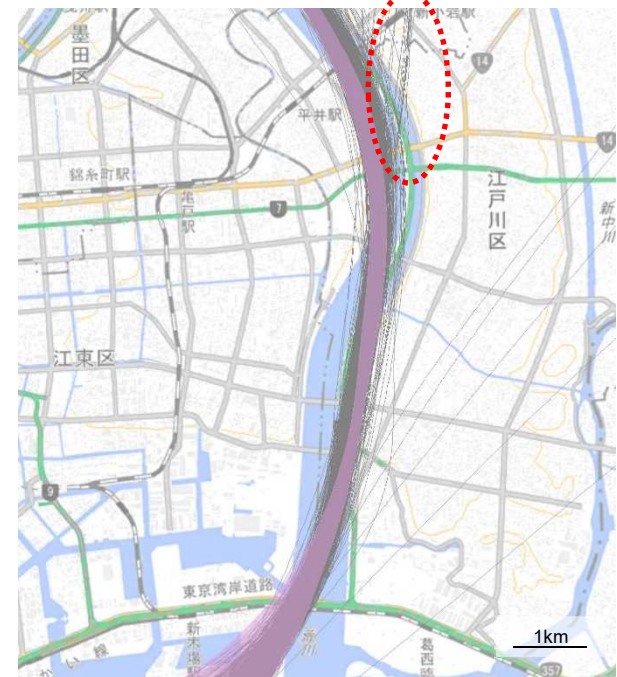
8月の航跡(参考)



9月の航跡



10月の航跡



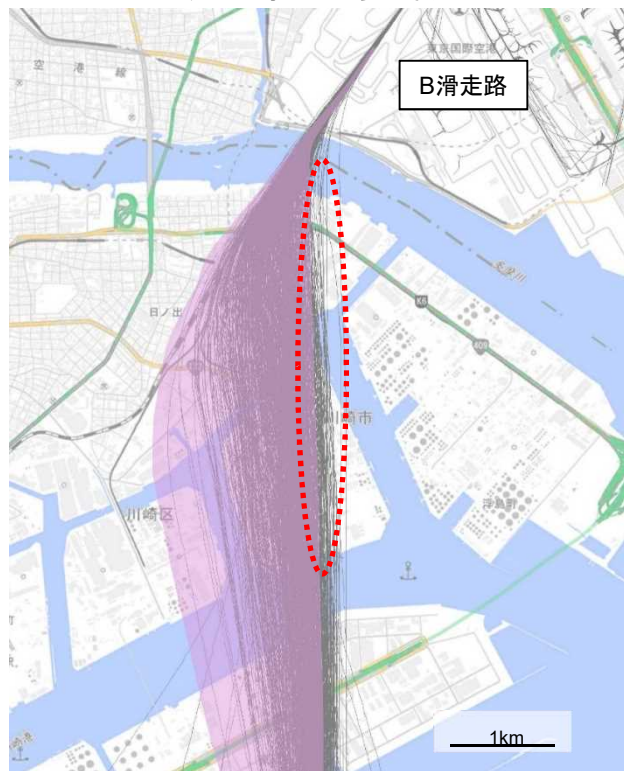
出典:国土地理院ウェブサイト
地理院地図KMLデータhttp://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi_pale.kml をもとに作成

【凡例】
桃色: 想定される運航経路
(北風運用時C滑走路離陸)
黒色: 航跡データ

2020年9、10月新飛行経路の航跡(南風離陸(B滑走路))

- 全体的に想定経路の範囲内を飛行。
- 一部の航空機については、騒音軽減運航方式に従い、早めに旋回することが可能であったことから、想定経路よりも東側を飛行。

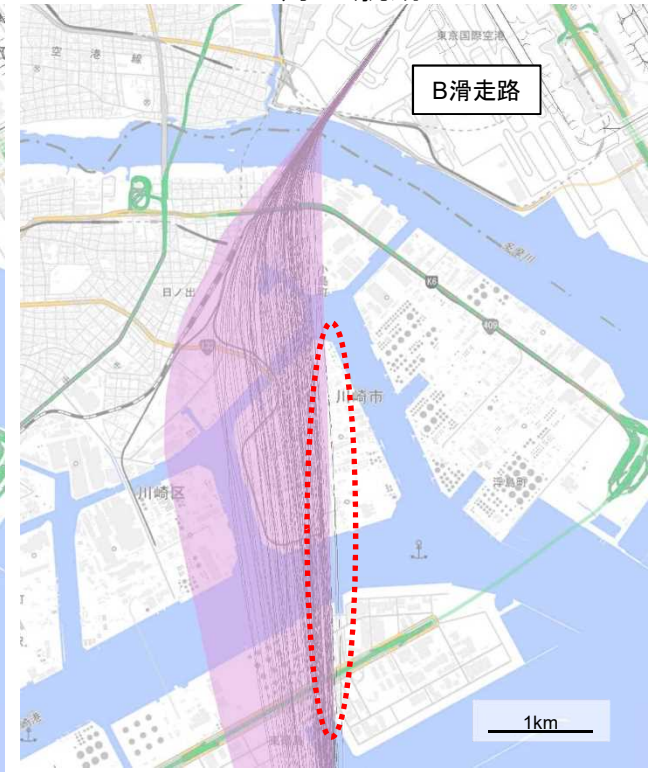
8月の航跡(参考)



9月の航跡



10月の航跡



【騒音軽減運航方式】

B滑走路の離陸経路においては、騒音軽減運航方式として、可能な限り早期の旋回を開始する方式や急上昇方式を導入。

■可能な限り早期の旋回開始

安全上支障のない範囲で、できるだけ早く旋回を開始することにより、住宅地の騒音を低減する方式。

■急上昇方式

離陸直後の上昇を重視することで空港近くでの騒音影響を軽減する運航方式。

【凡例】

桃色：想定される運航経路
(南風運用時B滑走路離陸)
黒色：航跡データ

出典：国土地理院ウェブサイト

地理院地図KMLデータhttp://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi_pale.kml をもとに作成

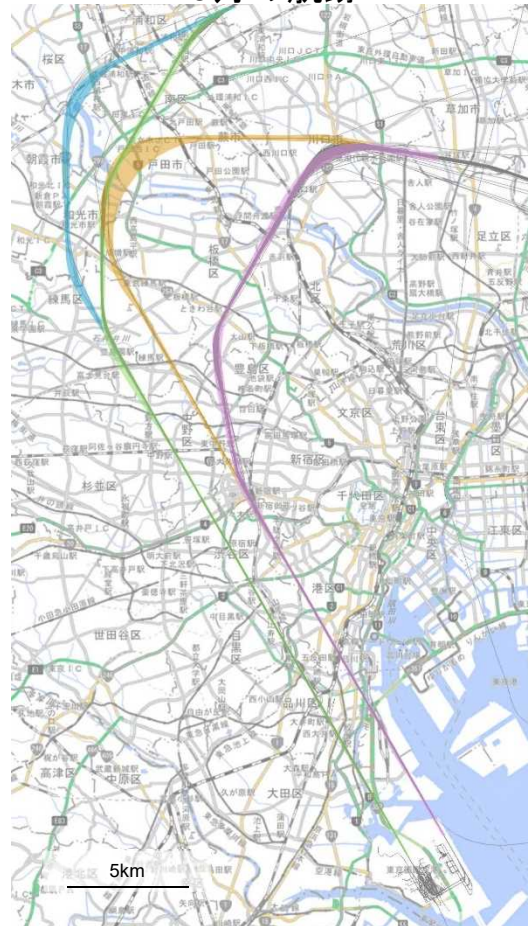
2020年9、10月新飛行経路の航跡(南風着陸(A/C滑走路)) 国土交通省

○ 一部経路の直線降下区間前において、イレギュラーな状況(突発的な滑走路閉鎖に伴う使用滑走路の変更等)により、航跡にばらつきがあるものの、全体的に想定経路の範囲内を飛行。

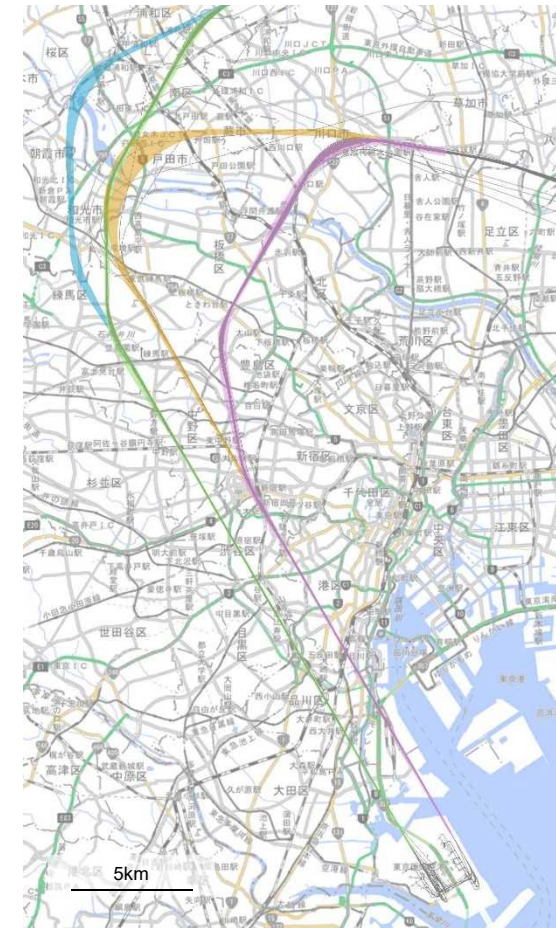
8月の航跡(参考)



9月の航跡



10月の航跡



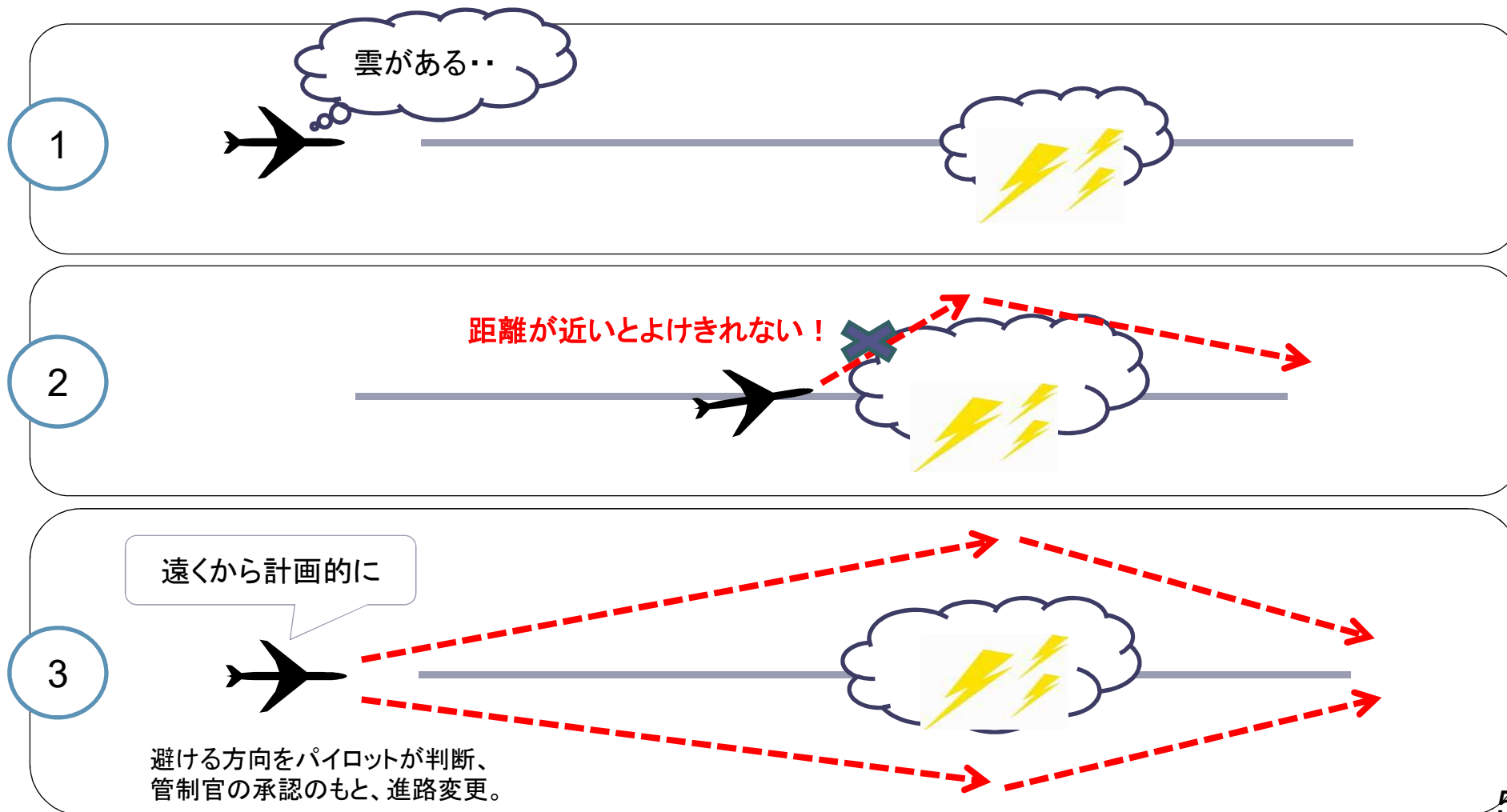
【凡例】

- 緑色：想定される運航経路（南風運用時A滑走路到着（好天気））
- 青色：想定される運航経路（南風運用時A滑走路到着（悪天気））
- 桃色：想定される運航経路（南風運用時C滑走路到着（好天気））
- 橙色：想定される運航経路（南風運用時C滑走路到着（悪天気））
- 黒色：航跡データ

出典：国土地理院ウェブサイト地理院地図KMLデータ
http://kmlnetworklink.gsi.go.jp/kmlnetworklink/kml/gsi_pale.kml をもとに作成

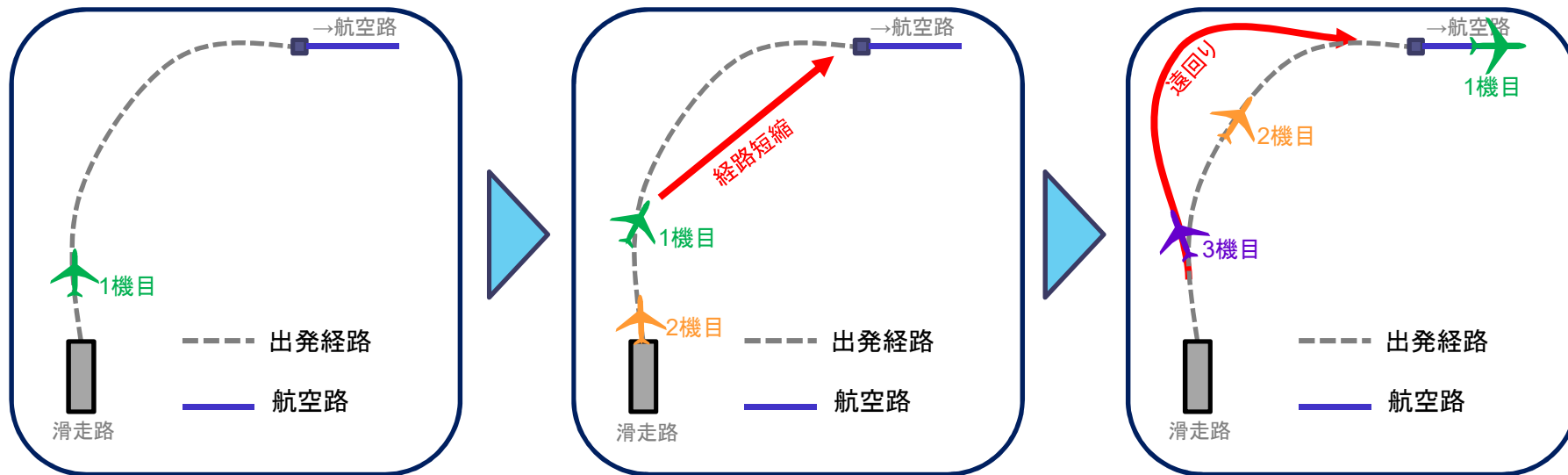
悪天回避について

- 飛行機は、運航の安全を確保するため、例えば積乱雲を避ける必要がある。
- 特に、夏季には、積乱雲が多く発生するほか、ゲリラ豪雨などの急激な気象状況の変化に見舞われることがある。
- 高速で飛行する飛行機は、積乱雲の直前で進路を変更して回避することができないため、積乱雲の遠方から、進路を変更し、計画的に積乱雲を避けている。



出発機間の安全な間隔確保について

- 飛行機は、離陸のために定められた間隔を取って離陸している。
- しかしながら、機材毎の速度差、気象条件等により、出発経路どおりの飛行では、航空路※上で必要な間隔が確保できない場合がある。
- ※航空路とは、飛行機のための高速道路のイメージ
- 飛行機は、停止したりゆっくり飛行することが出来ないため、管制官が必要に応じ、経路短縮や遠回りするルートを示し、航空路上での必要な間隔を確保し、安全な飛行を担保している。



経路通り飛ばそう



管制官

1機目を経路短縮させて2機目との間隔を拡大させよう



管制官

2機目を経路短縮できないから3機目を遠回りさせよう



管制官